

ナノテク産業化基盤技術の有効利用および  
高度化と融合を目指した研究会 2020  
(通称：ナノテク研究会)

主 催：九州大学 超顕微解析研究センター、九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)、  
文科省 微細構造解析プラットフォーム  
後 援：(株)日立ハイテクノロジーズ、日本電子(株)、  
サーモフィッシャーサイエンティフィック  
日 時：2020 (R2) 年 3 月 6 日 (金) 13：00～16：40  
場 所：九州大学 伊都キャンパス 稲盛財団記念館 (ホールC) (福岡市西区元岡744)  
参加費：無料

今回、学外から「電子顕微鏡による微細構造解析」を柱の一つとして最先端の解析力でものづくり産業を支援するファインセラミックスセンター ナノ構造研究所と、「計測診断用シミュレーション・画像信号処理」を研究テーマとし電顕画像にその技術を展開している大阪大学大学院 情報科学研究科の先生方にご講演を頂きます。また、九大超顕微解析研究センターにおける技術とアクティビティの向上を目指した研究課題に取り組んでいる「HVEM プロジェクト」から三つの研究課題についてのご講演と、さらに特別講演として、長年超顕微センターの運営と発展に貢献頂き本年度末にご退官される九大理学研究院の上原先生にご講演を頂きます。

1. センター長挨拶  
(13：00～13：05) 松村 晶 九州大学超顕微解析研究センター
2. 「*In situ/Operando* 電子顕微鏡法による機能性デバイスの計測と将来展望  
～電子顕微鏡計測はIoT化するか?～」  
(13：05～13：45) 山本 和生 (一財)ファインセラミックスセンター ナノ構造研究所
3. 「統計的画像解析とその計測限界」  
(13：45～14：25) 御堂 義博 大阪大学大学院 情報科学研究科  
  
(14：25～14：40) ————— 休憩 (15分) —————
4. HVEM プロジェクト研究課題
  - ① 「バルク試料における原子分解能その場加熱観察手法の確立」  
(14：40～15：05) 金子 賢治 九州大学工学研究院 材料工学部門
  - ② 「TES型マイクロカロリーメータ分析SEMによる細胞試料ホウ素マッピング技術の開発」  
(15：05～15：30) 前畑 京介 九州大学工学研究院 エネルギー量子工学部門
  - ③ 「走査透過電子顕微鏡を使った鉱物の定量分析のためのk因子の測定」  
(15：30～15：55) 野口 高明 九州大学基幹研究院 自然科学実験系部門
5. 特別講演 「蛇紋石鉱物と電子顕微鏡」  
(15：55～16：25) 上原 誠一郎 九州大学理学研究院 地球惑星科学部門
6. 九州大学学術研究都市の紹介  
(16：25～16：40) 本田 一郎 (公財)九州大学学術研究都市推進機構

※上記の各講演タイトルは現時点の「仮」のものです。

-----  
技術交流会 学内レストラン「天天」 17:10～19:00